

教育目標: ○考えを深める子 ○ひとを思いやる子 ○からだをきたえる子

目指す学校像: 自分や友達のおよさや成長、学ぶ喜びを実感できる学校

目指す児童・生徒像: 元気に活動し、意欲的に学ぶ子 問題を論理的に解決し、学んだ事柄を活用できる子 心身ともたくましく思いやりのある子

目指す教師像: 子供と共に喜び、悩みを理解できる教師 教育公務員の自覚をもち行動できる教師 授業力向上へ意欲的な教師 児童、保護者、地域から信頼される教師

| 領域 | 中期目標 | 短期目標 | 具体的方策 | 努力指標評価 | | | | 成果指標評価 | | | |
|-----------|---|--|---|--------|-------------|----|----------------------|--------|----|----|-----------------------|
| | | | | 中間 | 最終 | 基準 | | 中間 | 最終 | 基準 | |
| | | | | | | 4 | 3 | | | 4 | 3 |
| 確かな学力の定着 | 問題解決的な学習を積極的に取り入れ、知識・技能の習得とともに思考力・判断力・表現力、及び学びに向かう力を育成する。 | 協働的な学びや一人一人に応じた個別最適な学びを授業に取り入れ、主体的・対話的で深い学びの実現を図る。 | 友達と対話する学習場を設定し個々の学びが深まるようにする。必要に応じて教科横断的に学習を計画・実践する。また、地域に親しみ、学ぶ「国分寺学」を推進する。 | ○ | ○ | 4 | 全教員が実施 | ○ | ○ | 4 | 児童アンケートで肯定的評価が90%以上 |
| | | | | 3 | 90%以上の教員が実施 | 3 | 児童アンケートで肯定的評価が80%以上 | | | | |
| | | | | 2 | 80%以上の教員が実施 | 2 | 児童アンケートで肯定的評価が70%以上 | | | | |
| | | | | 1 | 80%未満の教員が実施 | 1 | 児童アンケートで肯定的評価が70%未満 | | | | |
| | | | | ○ | ○ | 4 | 全教員が実施 | ○ | ○ | 4 | 児童アンケートで肯定的評価が90%以上 |
| | | | | 3 | 90%以上の教員が実施 | 3 | 児童アンケートで肯定的評価が80%以上 | | | | |
| | | | | 2 | 80%以上の教員が実施 | 2 | 児童アンケートで肯定的評価が70%以上 | | | | |
| | | | | 1 | 80%未満の教員が実施 | 1 | 児童アンケートで肯定的評価が70%未満 | | | | |
| 豊かな人間性の育成 | 誰もが大切にされる温かな人間関係の構築に努め、思いやりのある児童を育てる。 | 生命尊重、人権尊重を基調とした豊かな人間関係の構築を目指した教育活動を推進する。児童が互いの立場や違いを認め・助け合い、差別や偏見のないよりよい学校生活を送ろうとする意識を高める。 | 学校全体で「いじめはしないさせない見逃さない」を徹底する。道徳科の授業を活用し、いじめの未然防止に向けた取組をする。児童主体のありがとうカードを実施し、相手を思いやる心を育てていく。 | ○ | ○ | 4 | 全教員が実施 | ○ | ○ | 4 | 児童アンケートで肯定的評価が90%以上 |
| | | | | 3 | 90%以上の教員が実施 | 3 | 児童アンケートで肯定的評価が80%以上 | | | | |
| | | | | 2 | 80%以上の教員が実施 | 2 | 児童アンケートで肯定的評価が70%以上 | | | | |
| | | | | 1 | 80%未満の教員が実施 | 1 | 児童アンケートで肯定的評価が70%未満 | | | | |
| | | | | ○ | ○ | 4 | 全教員が実施 | ○ | ○ | 4 | 児童アンケートで肯定的評価が90%以上 |
| | | | | 3 | 90%以上の教員が実施 | 3 | 児童アンケートで肯定的評価が80%以上 | | | | |
| | | | | 2 | 80%以上の教員が実施 | 2 | 児童アンケートで肯定的評価が70%以上 | | | | |
| | | | | 1 | 80%未満の教員が実施 | 1 | 児童アンケートで肯定的評価が70%未満 | | | | |
| 健康や体力の向上 | 食育を推進し、食に興味・関心を持たせるとともに、丈夫な体を作ろうとする児童を育てる。 | 体育や特別活動において活動を工夫・改善を通して、児童の体力向上や心身の健康の維持・増進に努める。 | 体育や特別活動において、児童の関心や意欲を高めるため、授業改善を図り実施する。外遊びを奨励し、運動の日常化を図る。食育では、日本食や「こくべじ」に触れる体験を積極的に取り入れる。 | ○ | ○ | 4 | 全教員が実施 | ○ | ○ | 4 | 児童アンケートで肯定的評価が90%以上 |
| | | | | 3 | 90%以上の教員が実施 | 3 | 児童アンケートで肯定的評価が80%以上 | | | | |
| | | | | 2 | 80%以上の教員が実施 | 2 | 児童アンケートで肯定的評価が70%以上 | | | | |
| | | | | 1 | 80%未満の教員が実施 | 1 | 児童アンケートで肯定的評価が70%未満 | | | | |
| 家庭・地域との連携 | 地域に開かれた学校づくりを推進する。 | コミュニティ・スクール(CS)を活用し、保護者・地域と共にある開かれた学校づくりを推進する。 | 地域教材や人材を生かし、地域の良さを児童が実感し、地域へ発信できるよう「国分寺学」を進めていく。学校公開、ブログ、HPで情報を発信する。 | ○ | ○ | 4 | 全教員が実施 | ○ | ○ | 4 | 保護者らアンケートで肯定的評価が90%以上 |
| | | | | 3 | 90%以上の教員が実施 | 3 | 保護者アンケートで肯定的評価が80%以上 | | | | |
| | | | | 2 | 80%以上の教員が実施 | 2 | 保護者アンケートで肯定的評価が70%以上 | | | | |
| | | | | 1 | 80%未満の教員が実施 | 1 | 保護者アンケートで肯定的評価が70%未満 | | | | |

| |
|---|
| 教育目標: ○考えを深める子 ○ひとを思いやる子 ○からだをきたえる子 |
| 目指す学校像: 自分や友達によさや成長、学ぶ喜びを実感できる学校 |
| 目指す児童・生徒像: 元気に活動し、意欲的に学ぶ子 問題を論理的に解決し、学んだ事柄を活用できる子 心身ともたくましく思いやりのある子 |
| 目指す教師像: 子供と共に喜び、悩みを理解できる教師 教育公務員の自覚をもち行動できる教師 授業力向上へ意欲的な教師 児童、保護者、地域から信頼される教師 |

| 領域 | 中期目標 | 短期目標 | 具体的方策 | 努力指標 | 努力指標 | 成果指標 | 成果指標 | 分析コメント | 改善策 |
|-----------|---|--|--|------|------|------|------|--|--|
| | | | | (中間) | (最終) | (中間) | (最終) | | |
| 確かな学力の定着 | 問題解決的な学習を積極的に取り入れ、知識・技能の習得とともに思考力・判断力・表現力、及び学びに向かう力を育成する。 | 協力的な学びや一人一人に応じた個別最適な学びを授業に取り入れ、主体的・対話的で深い学びの実現を図る。 | 友達と対話する学習場を設定し個々の学びが深まるようにする。必要に応じて教科横断的に学習を計画・実践する。また、地域に親しみ、学ぶ「国分寺学」を推進する。 | 3 | / | 3 | / | 1年生から自分の考えを伝えたり、友達の聞いたりする活動を取り入れることで、学年が上がるにつれ友達と話す良さを感じ、個々の学びが深まっている。 | 全く意見を言えない、もてない児童もいるので、今後もペアやグループ学習を取り入れて互いの意見を伝え合う、聞き合う機会を設定する。 |
| | | ねらいを明確にした分かりやすい授業を展開するとともに、基礎的・基本的な学習の確実な定着や表現力の育成を図る。 | 学習内容に合わせPC端末を効果的に活用し、基礎・基本の学習の定着や表現力の育成に努める。授業改善・指導方法の工夫に努め、児童の学力の向上を目指す。 | 4 | / | 4 | / | 児童の実態に合わせ学習を進めている。GIGA端末を効果的に使い、自分の考えをまとめ友達と共有したり、国語や算数などの基礎基本の習熟を図った。 | 指導方法について研修し、スキルアップしていく。授業によっては、ワークシートをGIGA端末か紙のどちらも用意することで個別に選択できるようにする。 |
| 豊かな人間性の育成 | 誰もが大切にされる温かな人間関係の構築に努め、思いやりのある児童を育てる。 | 生命尊重、人権尊重を基調とした豊かな人間関係の構築を目指した教育活動を推進する。児童が互いの立場や違いを認め、助け合い、差別や偏見のないよりよい学校生活を送ろうとする意識を高める。 | 学校全体で「いじめはしない・いじめさせない・見逃さない」を徹底する。道徳科の授業を活用し、いじめの未然防止に向けた取組をする。児童主体のありがとうカードを実施し、相手を思いやる心を育てていく。 | 4 | / | 3 | / | 休み時間、児童と積極的に関わることにより、いち早くトラブルへの解決にあたる機会が得られた。班活動、係活動等で児童同士の関わりを充実させることで、互いの良さに気付くことができた。 | これからも「いじめはしない・いじめさせない・見逃さない」を徹底していく。児童会発信のありがとうカードも活用し、互いの良さを伝え合う場面を設定し、温かい人間関係の構築を心掛ける。 |
| | | 児童主体の挨拶運動を通年実施する。全教職員で児童を取り巻く言語環境を整え、正しい言葉遣いやマナーを身に付けさせる。 | 児童主体の挨拶運動を通年実施する。全教職員で児童を取り巻く言語環境を整え、正しい言葉遣いやマナーを身に付けさせる。 | 4 | / | 3 | / | 代表委員の挨拶運動では、動画を作成し呼び掛けることにより、すすんで挨拶をする児童が増えている。授業中の言葉遣いや周りの大人に対する言葉遣いを指導した。また仲良しの友達にも欠かせないマナーがあることも日常的に指導している。 | 代表委員の挨拶運動は、2学期以降も代表委員会を中心に取組、すすんで挨拶できるようにする。言語環境については統一した指導を継続していく必要がある。 |
| 健康や上体力の向上 | 食育を推進し、食に興味・関心を持たせるとともに、丈夫な体を作る児童を育てる。 | 体育や特別活動において活動を工夫・改善を通して、児童の体力向上や心身の健康の維持・増進に努める。 | 体育や特別活動において、児童の関心や意欲を高めるため、授業改善を図り実施する。外遊びを奨励し、運動の日常化を図る。食育では、日本食や「こくべじ」に触れる体験を積極的に取り入れる。 | 3 | / | 3 | / | 健康や体力の向上に向けて、「こくべじ」にふれるトウモロコシの皮むき体験などの取り組みを実施した。また、長縄週間などを通じ、外遊びを奨励した。体育的活動や体づくり運動のバリエーションを増やし、遊びながら体力を高められる工夫をしている。 | 児童が食に関する興味がもてるよう工夫し、少しでも食べられるように声を掛けていく。体育では、運動量の確保等に特に課題を感じた。外遊びを奨励し、教師も参加し、遊びながら体力が高まるよう、工夫していく。 |
| 家庭・地域との連携 | 地域に開かれた学校づくりを推進する。 | コミュニティ・スクール(CS)を活用し、保護者・地域と共にある開かれた学校づくりを推進する。 | 地域教材や人材を生かし、地域の良さを児童が実感し、地域へ発信できるよう「国分寺学」を進めていく。学校公開、ブログ、HPで情報を発信する。 | 3 | / | 3 | / | 保護者会での説明や、学校だよりなどで定期的に情報発信することにより、教育活動への理解と信頼が得られている。国分寺学を意識した生活科や総合的な学習の時間や行事など、総合的な学習の時間を実施することにより、児童の町への愛着が増している。 | 引き続きメールやブログを活用し、本校の活動状況を発信していく。国分寺学を意識した生活科や総合的な学習の時間や行事など、地域・保護者にも協力していただき、共に子供を育てていく。 |

| |
|---|
| 教育目標: ○考えを深める子 ○ひとを思いやる子 ○からだをきたえる子 |
| 目指す学校像: 自分や友達によさや成長、学ぶ喜びを実感できる学校 |
| 目指す児童・生徒像: 元気に活動し、意欲的に学ぶ子 問題を論理的に解決し、学んだ事柄を活用できる子 心身とともくましく思いやりのある子 |
| 目指す教師像: 子供と共に喜び、悩みを理解できる教師 教育公務員の自覚をもち行動できる教師 授業力向上へ意欲的な教師 児童、保護者、地域から信頼される教師 |

| 領域 | 中期目標 | 短期目標 | 具体的方策 | 努力指標 | 努力指標 | 成果指標 | 成果指標 | 今後の課題 | 学校関係者評価記入欄 |
|-----------|---|--|---|------|------|------|------|--|--|
| | | | | (中間) | (最終) | (中間) | (最終) | | |
| 確かな学力の定着 | 問題解決的な学習を積極的に取り入れ、知識・技能の習得とともに思考力・判断力・表現力、及び学びに向かう力を育成する。 | 協働的な学びや一人一人に応じた個別最適な学びを授業に取り入れ、主体的・対話的で深い学びの実現を図る。 | 友達と対話する学習場面を設定し個々の学びが深まるように学習。必要に応じて教科横断的に学習を計画・実践する。また、地域に親しみ、学ぶ「国分寺学」を推進する。 | 3 | / | 3 | / | 全く意見を言えない、もてない児童もいるので、今後もペアやグループ学習を取り入れて互いの意見を伝え合う、聞き合う機会を設定する。 | 同じ学習でも教員が児童の実態に合わせて授業を進めていた。授業見学をして、グループ活動で、積極的に意見交換している様子が見られた。 |
| | | ねらいを明確にした分かりやすい授業を展開するとともに、基礎的・基本的な学習の確実な定着や表現力の育成を図る。 | 学習内容に合わせPC端末を効果的に活用し、基礎・基本の学習の定着や表現力の育成に努める。授業改善・指導方法の工夫に努め、児童の学力の向上を目指す。 | 4 | / | 4 | / | 指導方法について研修し、スキルアップしていく。授業によっては、ワークシートをGIGA端末か紙のどちらも用意することで個別に選択できるようにする。 | 3～6年の学年内交換授業で、いろいろな先生から教えてもらうのはとても良い。先生方の専門性も高まり、学力向上につながる。 |
| 豊かな人間性の育成 | 誰もが大切にされる温かな人間関係の構築に努め、思いやりのある児童を育てる。 | 生命尊重 人権尊重を基調とした豊かな人間関係の構築を目指した教育活動を推進する。児童が互いの立場や違いを認め、助け合い、差別や偏見のないよりよい学校生活を送ろうとする意識を高める。 | 学校全体で「いじめはしない・させない・見逃さない」を徹底する。道徳科の授業を活用し、いじめの未然防止に向けた取組をする。児童主体のありがとうカードを実施し、相手を思いやる心を育てていく。 | 4 | / | 3 | / | これからも「いじめはしない・させない・見逃さない」を徹底していく。児童会発信のありがとうカードも活用し、互いの良さを伝え合う場面を設定し、温かい人間関係の構築を心掛ける。 | 9月1日に児童が登校できるか心配したが、何とか登校でき安心した。登校に不安な児童が一度保健室で落ち着いて教室へ向かっている。 |
| | | 児童主体の挨拶運動を通年実施する。全教職員で児童を取り巻く言語環境を整え、正しい言葉遣いやマナーを身に付けさせる。 | 児童主体の挨拶運動は、2学期以降も代表委員会を中心に取組、すすんで挨拶できるようにする。言語環境については統一した指導を継続していく必要がある。 | 4 | / | 3 | / | 代表委員の挨拶運動は、2学期以降も代表委員会を中心に取組、すすんで挨拶できるようにする。言語環境については統一した指導を継続していく必要がある。 | 来校したときに、児童が挨拶していた。元身の回りの整理整頓や掃除を大切にして、落ち着いて学習する環境づくりをしていく。 |
| 健康向上や体力 | 食育を推進し、食に興味・関心を持たせるとともに、丈夫な体を作る児童を育てる。 | 体育や特別活動において活動を工夫・改善を通して、児童の体力向上や心身の健康の維持・増進に努める。 | 体育や特別活動において、児童の関心や意欲を高めるため、授業改善を図り実施する。外遊びを奨励し、運動の日常化を図る。食育では、日本食や「こくベジ」に触れる体験を積極的に取り入れられる。 | 3 | / | 3 | / | 児童が食に関する興味ももてるよう工夫し、少しでも食べられるように声を掛けていく。体育では、運動量の確保等に特に課題を感じた。外遊びを奨励し、教師も参加し、遊びながら体力が高まるよう、工夫していく。 | こくベジを学習に取り入れ、地域の力を借り、工夫して活動している様子が見られた。児童は、活発、元気に楽しく遊んでいた。 |
| 家庭・地域との連携 | 地域に開かれた学校づくりを推進する。 | コミュニティ・スクール(CS)を活用し、保護者・地域と共にある開かれた学校づくりを推進する。 | 地域教材や人材を生かし、地域の良さを児童が実感し、地域へ発信できるよう「国分寺学」を進めていく。学校公開、ブログ、HPで情報を発信する。 | 3 | / | 3 | / | 引き続きメールやブログを活用し、本校の活動状況を発信していく。国分寺学を意識した生活科や総合的な学習の時間や行事など、地域・保護者にも協力していただき、共に子供を育てていく。 | 地域では、元気に遊んでいる子もしっかりと勉強する様子が見られた。第二中学校との連携を模索していく。例えば朝の挨拶運動など。 |